

# JIS

## 銅及び銅合金の棒

JIS H 3250 : 2021

(JCBA/JSA)

令和 3 年 1 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	天谷 義 則	一般社団法人日本アルミニウム協会
	儀 敦 夫	一般社団法人日本電機工業会
	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	岩崎 央	ステンレス協会 (日鉄ステンレス株式会社)
	河合 功 介	公益社団法人自動車技術会 (株式会社 SUBARU)
	河村 能 人	一般社団法人日本マグネシウム協会
	組田 良 則	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社フジタ)
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	須山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (東芝エネルギーシステムズ株式会社)
	寺澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	廣本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 52.5.1 改正：令和 3.1.20

官 報 掲 載 日：令和 3.1.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本伸銅協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-6803-0587)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 木村 一弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 名称及び種類の記号	3
5 品質	5
5.1 外観	5
5.2 化学成分	5
5.3 機械的性質	8
5.4 導電率及び体積抵抗率	10
5.5 時期割れ性	11
5.6 水素ぜい性	11
5.7 脱亜鉛腐食性	12
6 寸法及びその許容差	12
6.1 寸法	12
6.2 寸法の許容差	12
6.3 引抜棒の曲がりの許容値	15
6.4 引抜棒の角半径の許容値	16
7 試験	17
7.1 分析試験	17
7.2 引張試験	17
7.3 硬さ試験	17
7.4 導電率試験及び体積抵抗率試験	17
7.5 時期割れ試験	17
7.6 水素ぜい化試験	18
7.7 脱亜鉛腐食試験	18
8 検査	18
9 表示	18
10 報告	19
附属書 A (規定) 脱亜鉛腐食試験方法 (浸せき試験方法)	20
附属書 B (規定) 脱亜鉛腐食試験方法 (電気化学的方法)	24
附属書 C (参考) 棒の代表寸法	27
附属書 D (規定) 銅及び銅合金の棒の固体発光分光分析方法	28
解 説	30

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本伸銅協会（JCBA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 3250:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 4 年 1 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS H 3250:2015** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

会社名	所在地	特許番号	制定年月 (西暦)	名称
サンエツ金属株式会社	富山県高岡市吉久 1 丁目 4 番 1 号	特許第 3966896 号	2007.06.08	黄銅材
		特許第 4509801 号	2010.05.14	銅合金材料
三菱伸銅株式会社	東京都品川区北品 川 4 丁目 7 番 35 号	特許第 4951623 号	2012.3.16	鉛を超低量含む快削銅合金
株式会社キッツ メタルワークス	長野県茅野市宮川 7377 番地	特許第 4184357 号	2008.9.12	無鉛快削性黄銅合金及びその製造方法
株式会社キッツ	千葉県千葉市美浜 区中瀬 1 丁目 10 番 1	特許第 4184357 号	2008.9.12	無鉛快削性黄銅合金及びその製造方法
		特許第 4397963 号	2009.10.30	耐応力腐食割れ性に優れた鉛レス黄銅合金
		特許第 4550154 号	2010.7.16	耐応力腐食割れ性に優れた鉛レス黄銅合金
		特許第 5847326 号	2015.12.4	黄銅合金と加工部品及び接液部品
DOWA メタルテック株式会社	東京都千代田区外 神田 4 丁目 14 番 1 号	特許第 3824944 号	2006.7.7	耐応力腐食割れ性および耐脱亜鉛性に優れた銅合金及びその製造方法

上記の特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

## 銅及び銅合金の棒

## Copper and copper alloy rods and bars

## 1 適用範囲

この規格は、展伸加工した断面が丸形、正六角形、正方形、長方形及び R 付き正六角形の銅及び銅合金の棒（以下、棒という。）について規定する。

**注記 1** 棒とは、全長にわたって均一な断面をもち、直線状の形状で所定の長さに切断して供給される中実の展伸製品をいう。

**注記 2** R 付き正六角形とは、正六角形の角を内接円より大きく外接円より小さな径の同心円で切った形状をいう。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則
- JIS H 0500 伸銅品用語
- JIS H 0505 非鉄金属材料の体積抵抗率及び導電率測定方法
- JIS H 1012 銅及び銅合金の分析方法通則
- JIS H 1051 銅及び銅合金中の銅定量方法
- JIS H 1052 銅及び銅合金中のすず定量方法
- JIS H 1053 銅及び銅合金中の鉛定量方法
- JIS H 1054 銅及び銅合金中の鉄定量方法
- JIS H 1055 銅及び銅合金中のマンガン定量方法
- JIS H 1056 銅及び銅合金中のニッケル定量方法
- JIS H 1057 銅及び銅合金中のアルミニウム定量方法
- JIS H 1058 銅及び銅合金中のりん定量方法
- JIS H 1059 銅及び銅合金中のひ素定量方法
- JIS H 1061 銅及び銅合金中のけい素定量方法
- JIS H 1065 銅及び銅合金中のセレン定量方法
- JIS H 1068 銅及び銅合金中のビスマス定量方法
- JIS H 1069 銅及び銅合金中のカドミウム定量方法
- JIS H 1072 銅及び銅合金中のアンチモン定量方法
- JIS H 1292 銅合金の蛍光 X 線分析方法
- JIS K 0116 発光分光分析通則